

2012年6月13日
株式会社みずほコーポレート銀行

インド バンガロール支店開設認可の取得について

みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、インド準備銀行（Reserve Bank of India）宛に提出していたインドのカルナタカ州バンガロール郊外のデバナハリ地区における支店開設申請について、認可する旨の正式通知を同行より受領しました。これを受け、2013年4月中の支店開設を目指して具体的な準備作業を開始いたします。バンガロールでの支店開設は、邦銀では当行が初めてとなる見込みです。

バンガロールは、南インドの南西、デカン高原の一部をなすマイソール高原の中心に位置し、ムンバイ、デリー、コルカタ、チェンナイに続くインド第5の大都市で、人口は700万人を超えています。また、「インドのシリコンバレー」と呼ばれる世界有数のIT・エレクトロニクス産業の集積地で、インド国内のIT企業だけでなく日系企業ほか外資系企業も数多く進出しています。近年では、自動車産業、バイオテクノロジー産業等の集積も進んでおり、今後の更なる発展が期待されています。

バンガロール支店は、ムンバイ支店、ニューデリー支店に続くインドにおける当行3番目の営業拠点となる予定です。当行は、本年4月にバンガロールの属するカルナタカ州投資庁（Karnataka Udyog Mitra）と日系企業進出支援の業務協力協定を締結しており、バンガロール支店では、南インドをカバーする当行初の拠点として、お取引先の近くで各種金融サービスを提供し、みずほ銀行とも連携してお取引先の事業展開をサポートする体制を整えていきます。

以 上